

源信僧都一千年忌記念

「往生要集と地獄・極楽展」

親鸞聖人が、インド・中国・日本の念仏道統の師と仰いだ一人、源信（恵心僧都 942～1017年）は今年、一千年忌を迎えます。主著『往生要集』3巻は、念仏を基本とし流転輪廻の六道の迷いを超えて、欣求浄土を勧める意義深い書として、当時から注目された本となりました。ただ、この本の前半には、諸々の地獄がリアルに表現され、この書を原点に日本人の地獄観が創られたともいわれ、これを絵画化したものは各地の寺に伝えられております。真宗でも近世後半より用いられたようで、全国の真宗寺院にも散見されます。

今回、この記念すべき年にあたり、岡崎教区内寺院に伝えられている地獄絵などを展示し、改めて地獄と極楽、そしてお念仏の救いについて考えてみたいと思います。多くの皆様のご来場をお待ちしております。



豊田市十王寺所蔵「地獄図」

【開催期間】
2016年3月3日(木)～8日(火)

【会場】三河別院東別院会館2階展示場 【開場時間】9:30～16:30 (※最終日は17:00迄)

【主催】岡崎教区教化委員会 史料調査部会
【協力】三河別院・三河すーぱー絵解き座

◆◆お問い合わせ先◆◆ 真宗大谷派岡崎教務所
〒444-0031 愛知県岡崎市梅園町1-1-2
Tel:0564-22-2136 / Fax 0564-22-6472
E-mail:okazaki@higashihonganji.or.jp
<http://www.okazaki-kyoku.net>

期間中、同展示会場にて、『地獄・極楽絵』の絵解きを行います！
毎日12時30分～



◆法宝物学習会のご案内◆

教師陞補対象研修会

法宝物展示会「源信僧都一千年忌記念 往生要集と地獄・極楽展」に先立ち、法宝物学習会を開催します。地獄絵研究の第一人者である小栗栖健治氏を講師に、『往生要集』で描かれる地獄と浄土の世界を改めて学ぶ機縁とします。皆様のお越しをお待ちしています。

【開催日時】 **2016年2月22日(月)**
開会 13時30分 閉会 16時(予定)
法宝物調査 16～17時(予定)

会場 岡崎教区会館(岡崎教務所)
テーマ 「往生要集と地獄・極楽」
講師 小栗栖 健治氏

(前兵庫県立歴史博物館館長補佐・播磨学研究所副所長)

<講師紹介>

1954年生まれ。

大谷大学大学院修士課程修了・博士(文学)。

関西大学・神戸女子大学などの非常勤講師兼任。

専門は宗教民俗学で、宮座の研究とともに、「熊

野観心十界曼荼羅」をはじめとする、

描かれる地獄絵の研究に取り組む。全国に散在する地獄絵を調査研究する斯界の第一人者。

【主要著書】『宮座祭祀の史的研究』(2005年 岩田書院)

『熊野観心十界曼荼羅』(2011年 岩田書院)

『図説 地獄絵の世界』(2013年 河出書房新書)

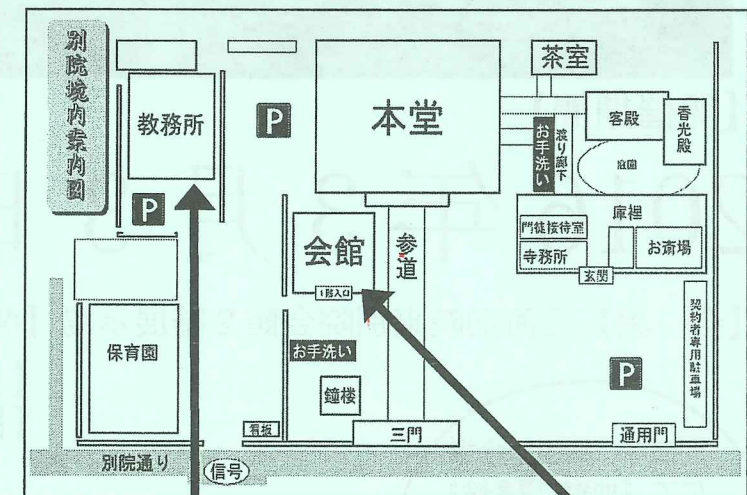
●学習会終了後、法宝物調査を実施します●

調査を希望される方は現物が写真、記憶媒体(SDカード、USBメモリー等)をご持参ください

会場案内図



三河別院・岡崎教務所配置図



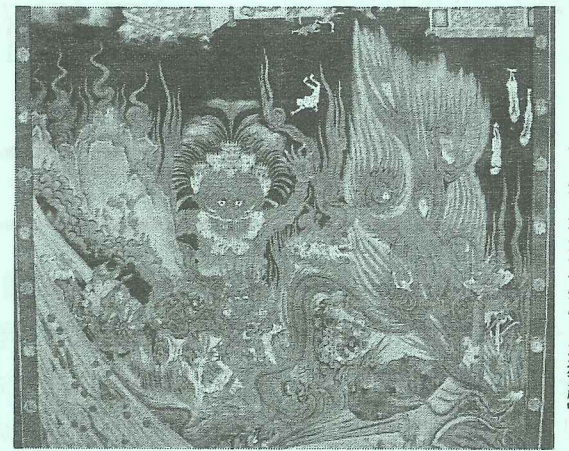
学習会会場：岡崎教区会館(岡崎教務所)

展示会会場：東別院会館2階展示場

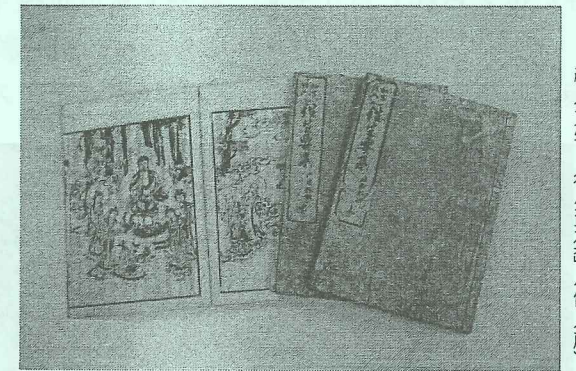


真宗大谷派 岡崎教区
OKAZAKI KYOKU

〒444-0031 愛知県岡崎市梅園町1丁目1番地2号
TEL.0564-22-2136 / FAX.0564-22-6472
<http://www.okazaki-kyoku.net>



西尾市永覺寺所蔵「地獄絵」



「絵入文字 往生要集」(個人蔵)